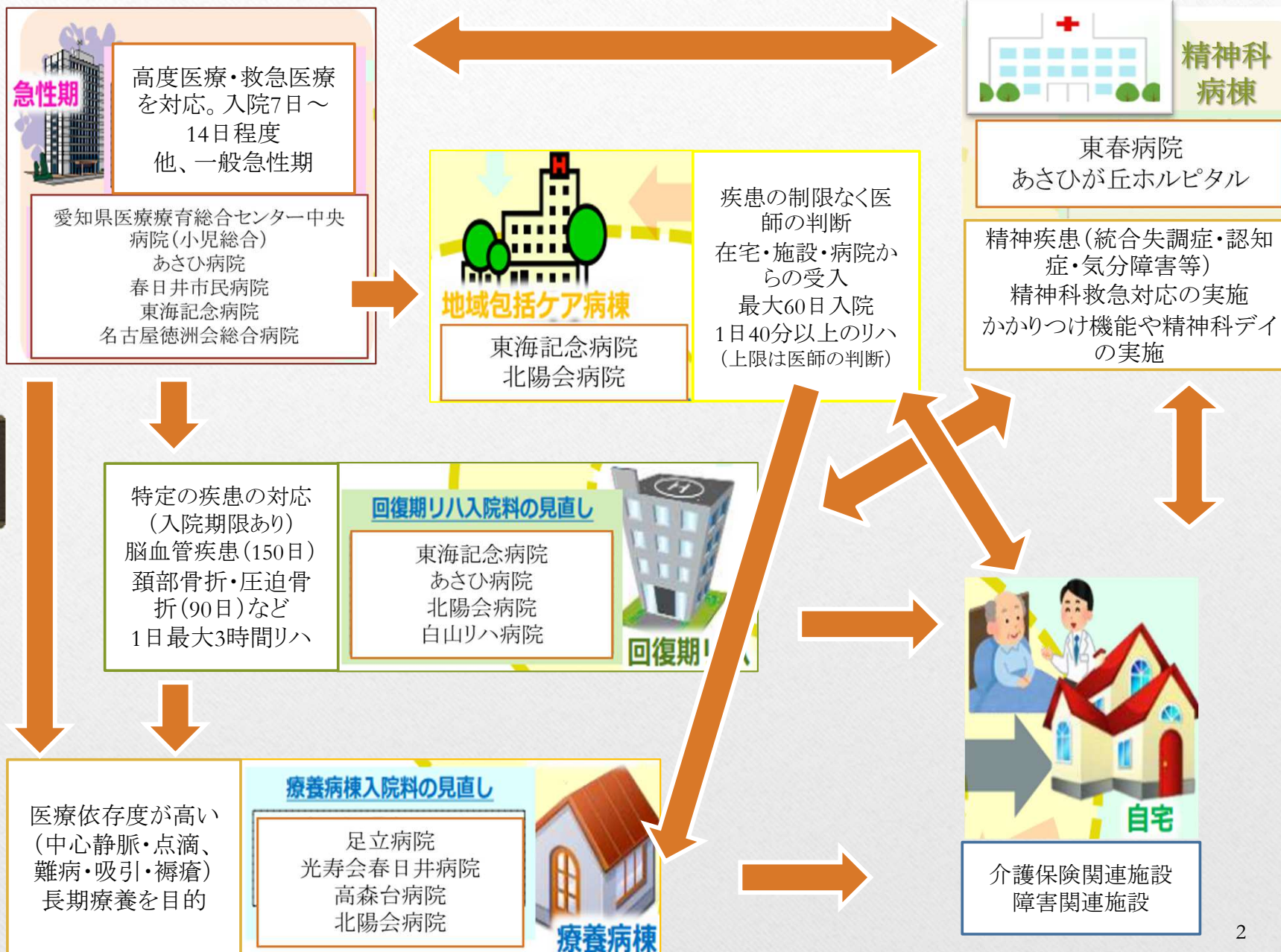


医療機関における MSWについて

本人の幸せを想う気持ちはみんな一緒

基本機能



MSWの役割

※医療機関によって異なる
(退院支援看護師や地域連携担当者)

- ・患者、家族が安心して治療を受け、退院後も生活が継続できるよう支援する
- ・医療と地域生活をつなぐ「橋渡し役」として機能する

医療福祉相談

- 社会保障・福祉制度の検討・案内
- 医療費・生活費など経済的相談
- 転院先や施設入所の相談
- 権利擁護
- 虐待対応
- アルコール依存症に対する支援 等

＊医療保険・介護保険・障害サービス・手帳・年金・傷病手当金などの案内、関係機関へ繋ぐ(繋げ方は本人・家族の能力に応じ)

＊身寄りがいない方の支援、成年後見制度の利用検討

＊虐待が疑われる場合の通報、情報共有

＊SBIRTS

地域連携

- 各医療機関との情報共有・連携強化、地域連携パス等の連携
- 要対協(要保護児童対策地域協議会)
- 断酒会との連携 等

＊各医療機関と課題の共有・スムーズな転院調整の体制を整えることで、適切な時期に適切な療養先で過ごせるような支援に

MSWの役割

その他

<総合相談窓口>

- 他医療機関の受診に関する相談
- 診察、検査に関する相談
- セカンドオピニオンに関する相談
- 意見、要望、苦情相談
- 院内スタッフの取次

<在宅退院支援>

- 退院後の在宅での生活、療養場所、医療介護ケアに関する相談・調整
- 在宅医療、介護障害サービス利用に関する相談

- * 入院中の他院受診、退院後の受診先の手配、予約、退院時処方の日数確認
- * 医師・看護師・療法士からの説明・相談場面のセッティング
- 患者・家族、地域連携先と病院とつなぐ役割、院内調整の窓口としての機能

- * 疾患、障害、介護に関する本人・家族への理解促進への支援
- * 障害受容に関する支援
- * 本人と家族などの理解・希望・意見調整
- * 生活再構築の方法の相談と支援機関への橋渡し
- * 自宅の環境設定

MSWの特徴

- ▶医療機関の福祉有資格者として、患者様の生活や関係性・地域とのつながりの視点をもち支援しています。
- ▶医師からの調整オーダーや指示を受けて初めて介入や支援を始めます。入院後の状況を問い合わせいただいても、**MSW**で状況を把握できていない患者様に関してはすぐに回答できない場合があります。
- ▶「元々在宅で〇〇のような課題を抱えており、療養先の調整で協議していきたい」といった具体的な課題を伝えていただければ、その内容を考慮した支援・協働（内容によっては担当部署への引き継ぎ）が出来るかと思います。
- ▶ **MSW**だけでなく、医師を含めた医療スタッフも地域連携や地域の支援無くして退院支援は困難であることを認識しています。
- ▶病院側から今後の療養に向けての協働について依頼させていただくことも多いかと思いますが、今後ともよろしく願ひいたします。